

所属・氏名（ 健康科学部 医療経営学科 氏名：江原 朗 ）

著書、学術論文等の名称		単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1	(学術論文) Ehara A. Relationship between the presence of inter-municipal cooperation to provide daycare services for children with mild illness and geographic, financial, and demographic factors of municipalities depending on such cooperation—multivariate analysis of inter-municipal cooperation to provide daycare for mildly ill children—《筆頭論文》	単	2024 年 3 月	HIU 健康科学ジャーナル	論文全体の概要：病児保育の相互乗り入れをしている全国の自治体の特徴を明らかにした。この結果、自治体間の連携には地理的な近接性が大きな影響を与えることが明らかになった。 (当該論文のページ数：8 頁) (当該論文の著者名 江原朗)
2	(学術論文) 江原朗.「子ども食堂」から 1 km、2 km 圏内に居住する小児人口の特定 《筆頭論文》	単	2023 年 11 月	日本小児科学会雑誌	論文全体の概要：全国の子どもたちにおける家から最寄りの「子ども食堂」までの距離を計測した。この結果、全国の子どもたちの半数においては、その距離が 2 キロ以内であることを明らかになった。 (当該論文のページ数：6 頁) (当該論文の著者名 江原朗)
3	(学術論文) 江原朗.全国の市町村における子ども食堂の数に関連する社会的な要因の特定—15 歳未満人口、家庭環境、経済的要因との関連について 《筆頭論文》	単	2023 年 7 月	日本医師会雑誌	論文全体の概要：全国の「子ども食堂」の数と社会経済的な要因との関連を解析した。この結果、子ども食堂は、全国的に都市部に集中しており、低所得世帯の割合が高い自治体で多い傾向が明らかになった。(当該論文のページ数：5 頁) (当該論文の著者名 江原朗)
4	(学術論文) 江原朗.子ども食堂の利用に関連する社会的な要因の特定—開催回数、家庭環境、地理的要因との関連について 《筆頭論文》	単	2023 年 6 月	日本医師会雑誌	論文全体の概要：広島県内の市区町における「子ども食堂」の利用者数と社会経済的な要因との関連を解析した。この結果、低所得世帯の割合が高い市区、近隣に子どもが多く住む地域において利用者数が多く、単親世帯に属する小児の割合が高い市区では逆に利用者数が少ないことが明らかになった (当該論文のページ数：7 頁) (当該論文の著者名 江原朗)
5	(学術論文) 江原朗. 子ども食堂から一定距離圏内の小学校に在籍する児童の割合について—広島県内の解析 《筆頭論文》	単	2023 年 2 月	日本医師会雑誌	論文全体の概要：広島県内の子ども食堂と小学校との距離を計算し、県内の小学生の約半数が在籍する小学校から 2 キロ以内に子ども食堂があることが判明した。 (当該論文のページ数：5 頁) (当該論文の著者名 江原朗)
6	(学術論文) 江原朗. 医師の負担軽減に伴う病院機能の集約化・重点化と患者アクセスの変化の量的概算 《筆頭論文》	単	2022 年 10 月	厚生指針	論文全体の概要：小児科の集約化とそれに伴う患者アクセスのモデルを構築した。 (当該論文のページ数：6 頁) (当該論文の著者名 江原朗)